Armadillo Twin
サービス手引き

Version 1.6.0

2025/06/24

株式会社アットマークテクノ https://www.atmark-techno.com
Armadillo サイト https://armadillo.atmark-techno.com

目次

1 はじめに 4

1.1 本書について 4

2 Armadillo Twin の紹介 4

2.1 Armadillo Twin とは 4

2.2 主な機能紹介 5

2.3 提供機能一覧 5

2.4 Armadillo Twin のアカウント・ユーザーについて 6

2.5 用語・表記について 7

2.6 対応デバイス一覧 8

2.6.1 Armadillo-640/Armadillo-610 をご利用の場合の注意事項 9

2.7 サービス提供条件 9

3 サービス利用料金 10

3.1 料金表 10

3.2 初期費 11

3.2.1 アカウント本契約料金 11

3.2.2 デバイス先契約料金 11

3.2.3 デバイス登録代行オプション料金 11

3.2.4 デバイス後契約料金 12

3.3 月額費 12

3.3.1 アカウント 月額基本料金 12

3.3.2 各種 月額デバイス利用料金 12

3.4 変更費 12

3.4.1 アカウント解約料金 12

3.4.2 デバイス解約料金 12

3.4.3 デバイス利用プラン変更料金 12

3.5 一時費 13

3.5.1 OTA 通信料(従量課金分) 13

3.5.2 ポイント利用料(従量課金分) 13

3.6 支払い方法 13

3.6.1 請求書払い 13

3.6.2 最初の支払日 13

3.6.3 契約内容変更時の請求 13

3.7 デバイスの契約・プラン申込・プラン変更の状態遷移図 14

3.7.1 デバイス先契約 14

3.7.2 トライアル・デバイス後契約 15

4 デバイス利用プラン 16

4.1 プラン表 16

4.2 ベーシックプラン 16

4.3 ベーシックプラン（3ヶ月間・無償トライアル） 17

4.4 スタンバイプラン 17

4.5 ライトプラン 17

4.6 リザーブプラン 18
5 Twin ポイント 19
5.1 概要 19
5.2 対象機能 19
5.3 付与ポイント数 19
6 トライアル 20
6.1 トライアルの流れ 20
6.1.1 デバイスの購入 20
6.1.2 それ以降の手順は、クイックスタートを実施 21
6.2 トライアル期間 21
7 アカウント本契約 22
7.1 トライアルアカウントから本契約アカウントへの移行 22
7.2 新規に本契約アカウントを作成する 22
7.3 本契約アカウントへのデバイス登録方法 23
8 契約内容の変更方法 24
8.1 アカウント解約 24
8.2 デバイス解約 24
8.3 デバイス利用プラン変更 24
8.3.1 リザーブプランから他のプランへの変更 24
8.3.2 他のデバイス利用プラン変更 24
9 問い合わせ・サポート 25
9.1 問い合わせ窓口 25
9.2 問い合わせいただける内容 25
9.3 メンテナンス・サービスの停止・不具合に関するお知らせ 25
10 改訂履歴 26

1 はじめに

1.1 本書について

本書は Armadillo Twin の主な機能紹介、利用料金やプランの紹介、契約や導入方法をまとめた資料です。また、ご利用を検討中、ご利用中のお客様に向けて、お問い合わせ窓口等も記載しています。

2 Armadillo Twin の紹介

2.1 Armadillo Twin とは

「Armadillo Twin」は、Armadillo Base OS 搭載のデバイスをリモートから運用管理することができるクラウドサービスです。様々なタスクをリモートから実行できるようになり、OS アップデートもダッシュボードからの操作で行えるので、稼働中のデバイスは常に最新の状態を維持できます。バグ修正やセキュリティ対策などのメンテナンスのほか、機能追加や設定変更、アプリケーションのアップデートなども行えるため、設置現場に出向くことなく計画的・効率的な DevOps を実現します。

2.2 主な機能紹介

ソフトウェアアップデート（OTA）

遠隔からデバイスのソフトウェアアップデートをすることで、長期にセキュリティ性の高いシステムを保つと共に、新たな機能を提供することも可能となります。本サービスはデバイスに搭載されている Armadillo Base OS と連携し、不正なソフトウェアへのアップデートを行わせない署名検証機能、および突然の電源断や通信回線の障害によってアップデートが失敗した際に、自動で元の状態に戻るロールバック機能を備えています。そのため、利用者は安心してソフトウェアアップデートを利用することができます。

遠隔稼働監視

登録されたデバイスの死活監視をはじめ、CPU の使用率や温度、メモリの空き容量、モバイル回線の電波状況、ストレージの空き容量や寿命の監視ができます。アラートメール機能によりシステムの異常を検知し、遠隔操作機能を使うことによって、即座に対処することも可能です。また、デバイス本体に搭載されているセキュアエレメントを使った個体認証により、不正なデバイスの接続を防ぎます。

遠隔操作

リモートでデバイスに対してコマンドを実行できます。本サービスは遠隔操作で一般的に使われる SSH(Secure Shell)のように固定グローバル IP アドレスを必要としません。そのため、通信回線の契約を安くできるだけでなく、インターネット上からのサイバー攻撃のリスクを抑制する効果もあります。また、登録されているデバイスはラベル名付けやグループ化をすることができ、グループに対する一括実行や時刻を指定するスケジュール実行の機能も備えています。

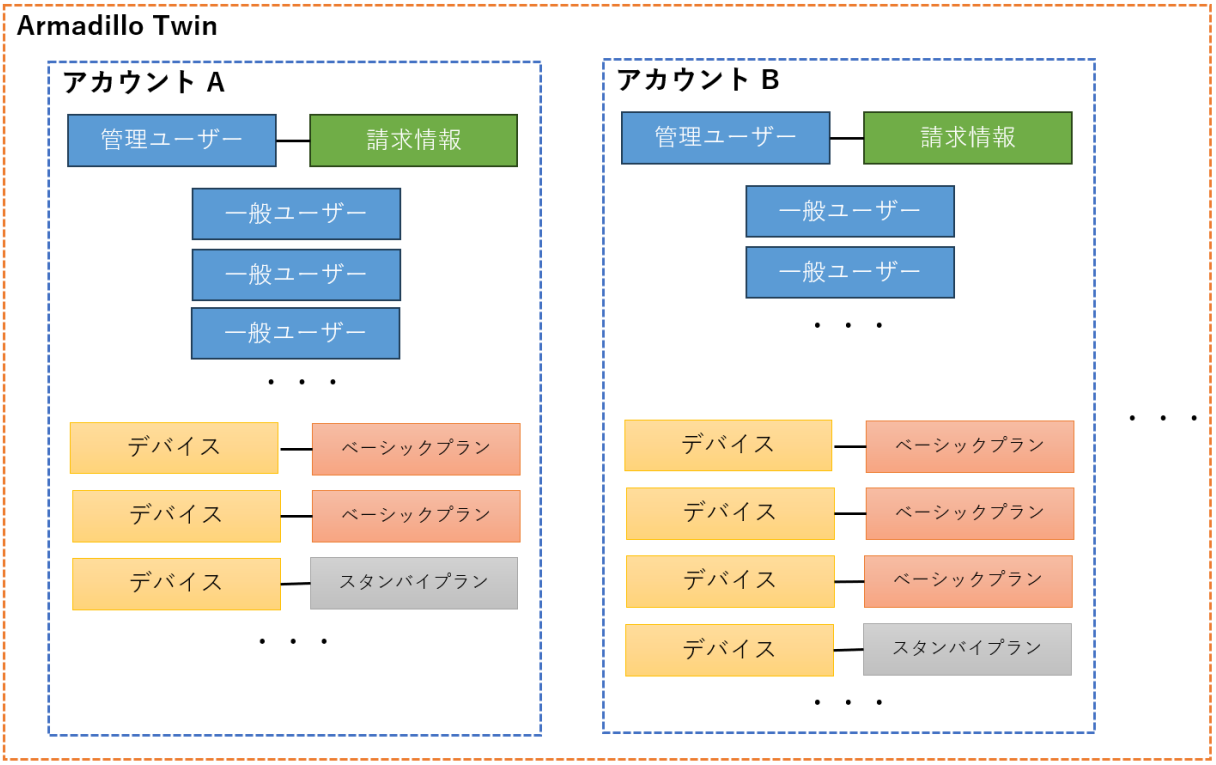
2.3 提供機能一覧

遠隔稼働監視	死活監視、アプリケーションコンテナ稼働状況、 CPU 使用率、CPU 温度、メモリ空き容量、ストレージ寿命、モバイル回線電波強度、モバイル回線基地局の位置情報[※]、アラートメール
遠隔操作	ソフトウェアアップデート(OTA)、任意コマンド実行、ソフトウェアバージョン確認、設定変更、グループ一括実行、スケジュール実行
個体管理	デバイス登録(デバイス証明書を利用)、ラベル付け、デバイスグループ化機能
ユーザー管理	ユーザーの追加/削除、ユーザー権限の設定
お知らせ	セキュリティアップデート、システム障害通知

[※] 2025 年 6 月 24 日現時点では非対応で、今後のアップデートで対応予定です。

2.4 Armadillo Twin のアカウント・ユーザーについて

Armadillo Twin では、お客様がアカウントを契約しその配下にデバイスを登録することで、リモートから運用管理が可能になります。またアカウントの管理ユーザーはアカウント内に任意のユーザーを作成（招待）することができます。概要図を次に示します。



2.5　用語・表記について

用語	説明
Armadillo Twin	弊社が提供するデバイスをリモートから運用管理することができるクラウドサービスです。
アカウント	サービス利用時に、利用者が作成する契約単位・請求単位です。
管理ユーザー	アカウントの契約者。アカウント内の全操作に対する権限を持ち、一般ユーザーを招待して各種操作の権限を付与することができます。また、Armadillo Twin 利用にかかる費用の請求書が送付されます。
一般ユーザー	管理ユーザーによってアカウントに招待され、そのアカウントを利用できる利用者です。管理ユーザーによって与えられた権限内で各種操作を行なうことができます。
本契約	月額基本料が発生するアカウントを契約することです。
対応デバイス	Armadillo Twin でリモートから運用管理することのできるデバイスをさします。「対応デバイス一覧」を参照してください。
デバイス登録	アカウントに対応デバイスを登録することでリモートからデバイスの運用管理が可能になります。
デバイス利用プラン	デバイス毎にプランを設定することができ、プランによって利用可能な機能、月額料金に違いがあります。同一アカウント内にプランの違う複数のデバイスを登録することも可能です。

2.6 対応デバイス一覧

デバイス名	製品 URL	外観
Armadillo-IoT ゲートウェイ G4	https://armadillo.atmark-techno.com/armadillo-iot-g4	 Armadillo-IoT G4
Armadillo-IoT ゲートウェイ A9E	https://armadillo.atmark-techno.com/armadillo-iot-a9e	 Armadillo-IoT A9E
Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E	https://armadillo.atmark-techno.com/armadillo-iot-a6e	 Armadillo-IoT A6E
Armadillo-X2	https://armadillo.atmark-techno.com/armadillo-x2	 Armadillo-X2
Armadillo-900	https://armadillo.atmark-techno.com/armadillo-900	 Armadillo-900
Armadillo-640	https://armadillo.atmark-techno.com/armadillo-640	 Armadillo-640
Armadillo-610	https://armadillo.atmark-techno.com/armadillo-610	 Armadillo-610

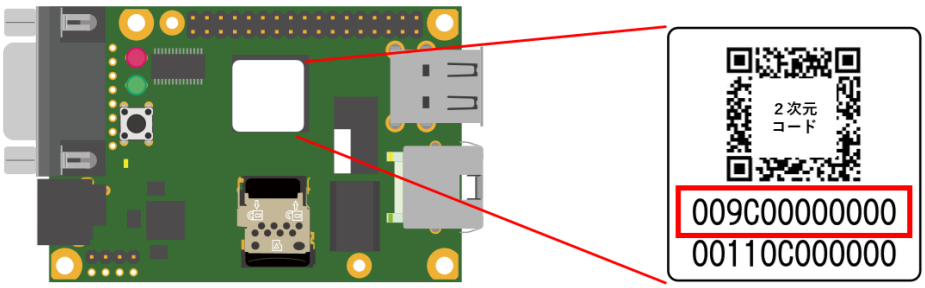
2.6.1 Armadillo-640/Armadillo-610 をご利用の場合の注意事項

以下の変更通知が適用後のデバイスのみ Armadillo Twin に対応しています。それよりも前に製造したデバイスでは Armadillo Twin を利用することができません。

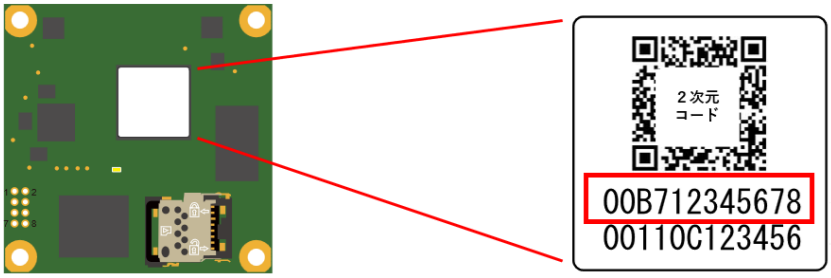
- **Armadillo-640: 変更通知番号 2023-015**
  https://armadillo.atmark-techno.com/change_notification/2023-015
- **Armadillo-610: 変更通知番号 2023-022**
  https://armadillo.atmark-techno.com/change_notification/2023-022

対応デバイス判別方法

- **Armadillo-640**
  シリアルナンバー 009C01490001 以降の個体で Armadillo Twin の利用が可能です。
  本体のシリアルナンバーシールをご確認ください。



- **Armadillo-610**
  シリアルナンバー 00B700430001 以降の個体で Armadillo Twin の利用が可能です。
  本体のシリアルナンバーシールをご確認ください。



2.7 サービス提供条件

- 対応デバイスをご購入いただいた個人・または法人のお客様
- 弊社が定める「Armadillo Twin 利用規約」へ同意

3 サービス利用料金

3.1 料金表

Armadillo Twin の利用にかかる料金一覧を次に示します。各項目の詳細については以降の章・節をご確認ください。

費用	項目	料金（税抜）
初期費	アカウント本契約料金	0 円 / アカウント
	デバイス先契約料金	1,000 円 / 台[a]
	デバイス登録代行オプション料金[h]	100 円 / 台[a]
	デバイス後契約料金	3,000 円 / 台
月額費[b]	アカウント 月額基本料金[c]	10,000 円 / アカウント
	リザーブプラン 月額デバイス利用料金	0 円 / 台
	スタンバイプラン 月額デバイス利用料金[d]	0 円 / 台
	ライトプラン 月額デバイス利用料金[d]	100 円 / 台
	ベーシックプラン 月額デバイス利用料金[d][e]	300 円 / 台
変更費	アカウント解約料金	1,000 円 / アカウント
	デバイス解約料金[f]	300 円 / 台
	デバイス利用プラン変更料金[f][g]	300 円 / 台
一時費	OTA 通信料(従量課金分)	100 円 / 1GB
	ポイント利用料(従量課金分)	100 円 / 1000 ポイント

[a] メーカー希望小売価格です。なお、デバイスを削除した後のデバイス再登録にはデバイス後契約料金が適用されます。

[b] 月額費の日割り計算はいたしません。

[c] リザーブプランでは本契約まで月額基本料金が掛かりません。

[d] 同一アカウント内に異なるプランの複数デバイスを登録することが可能です。デバイスを削除し同月内に再登録した場合、のべ台数で料金が発生します。

[e] OTA 通信量 4GB/月の料金を含みます。アカウント内のデバイス全体で、定額部分の容量 4GB ×登録台数分の容量をシェアすることができます。

[f] デバイス毎に行なうことができます。

[g] 他のプランからリザーブプランに変更することはできません。

[h] デバイス先契約のみのオプションです。

3.2 初期費

3.2.1 アカウント本契約料金

Armadillo Twin のアカウント本契約料金（本契約アカウントの作成料金）は無料です。アカウントを契約し、アカウント内に契約したデバイスの登録を行なうことでデバイスの監視・管理を始めることができます。同一アカウント内に異なるプランの複数デバイスを登録することも可能です。 3 ヶ月無償で利用できる無償トライアルも提供しています。本契約、トライアルに関わらずどちらも Armadillo Twin サービス(https://apps.armadillo-twin.com)から申し込むことができます。

3.2.2 デバイス先契約料金

デバイスの発注時に Armadillo Twin の利用をお申し込みいただいた際の契約料金です。月額プランはリザーブプランが適用されます。販売代理店への支払いとなり、金額 税抜 1,000 円/台はメーカー希望小売価格です。

また、次のユースケースを想定した契約方法です。

- 現時点では Armadillo Twin を利用するか分からないが、設置後に何かあった時に後付けで運用管理をスタートしたい。
- Armadillo Twin を利用する事が決まっていて、自社のキッティング工程等で Armadillo Twin アカウントにデバイスを登録し、出荷したい。

3.2.3 デバイス登録代行オプション料金

デバイス先契約料金に合わせてデバイス登録代行オプションをお申込みいただいた際の契約料金です。お客様のアカウントへのデバイス登録を弊社が代行します。リザーブプラン以外の月額プランを納品時から設定したい場合は、オプション申込が必須となります。販売代理店への支払いとなり、金額 税抜 1,100 円/台はメーカー希望小売価格です。

こちらをお申込みいただくと、デバイスの登録の手間を省くことができるため、デバイスの台数が多い場合などに最適なオプションです。

また、プランのほか、デバイスの利用を開始するタイミングを以下の 2 通りから選択することができます。お申込みいただく際には、販売代理店へ「Armadillo Twin デバイス先契約料金　デバイス登録代行オプション付き 利用申込書」を提出いただく必要があります。詳細については販売代理店へお問い合わせください。

- すぐに利用を開始する
  デバイス納品後、すぐに利用を開始する場合や台数が多い場合におすすめです。初期設定を弊社で実施するため、出荷日から月額デバイス利用料金が発生します。
- 任意のタイミングで利用を開始する
  デバイス納品後、利用を開始するまで日数が空く場合におすすめです。マニュアルに記載の「デバイスの利用を開始する」をユーザーが実施したタイミングで、月額デバイス利用料金が発生します。

3.2.4 デバイス後契約料金

デバイスの納品後にアカウント月額基本料金が発生するデバイス利用プランをお申し込みいただいた際の契約料金で、金額は税抜 3,000 円/台となります。デバイスの納品後、アカウントの作成を行ない Armadillo Twin サービスから、アカウントにデバイスを登録することで申し込むことができます。

https://apps.armadillo-twin.com

「デバイス先契約」で契約したデバイスを一度解約し、再度契約する場合は「デバイス後契約料金」が適用されます。

3.3 月額費

3.3.1 アカウント 月額基本料金

Armadillo Twin のアカウントを利用するための基本料金となります。金額は税抜 10,000 円 / アカウントです。月の途中での契約・解約時に料金の日割り計算は致しません。契約中の全てのデバイスがリザーブプランの場合、月額基本料金は掛かりません。

3.3.2 各種 月額デバイス利用料金

各デバイス利用プランについては「デバイス利用プラン」をご確認ください。月の途中での契約・解約時に料金の日割り計算は致しません。

3.4 変更費

3.4.1 アカウント解約料金

アカウントの解約に必要な料金で、税抜 1,000 円 / アカウントです。アカウントの解約をした場合、登録した情報や設定、保存されているデバイス稼働データは削除されます。

3.4.2 デバイス解約料金

デバイスの解約料金で、税抜 300 円/台です。アカウントに登録したデバイスが削除されます。保存していたデバイス稼働データも削除されます。

3.4.3 デバイス利用プラン変更料金

デバイスの利用プランの変更にかかる料金で、税抜 300 円/台です。デバイスごとにプランの変更を行なうことができます。同月内で複数回のプラン変更をした場合は、プラン変更した回数分の料金を請求いたします。また、月の途中で利用プランを変更した場合、最も高いプランの月額料金を日割り計算せずに請求致します。

3.5 一時費

3.5.1 OTA 通信料(従量課金分)

ソフトウェアアップデート(OTA)の通信量をもとに計算され、アカウント全体で利用できる容量を超えた場合 1GB 毎に税抜 100 円が従量課金されます。容量は、定額部分の容量 4GB ×ベーシックプランの契約台数分となります。従量課金は初期状態では無効に設定されているため、有効にする場合は別途設定が必要です。

3.5.2 ポイント利用料(従量課金分)

消費ポイント数が付与ポイントを超過した場合、1000 ポイントごとに税抜 100 円が従量課金されます。なお、契約デバイス数によって付与ポイント数が異なります。従量課金は初期状態では無効に設定されているため、有効にする場合は別途設定が必要です。ポイントの詳細は「Twin ポイント」をご確認ください。

3.6 支払い方法

3.6.1 請求書払い

月末締め翌月末払いにて弊社指定口座にお振込みいただきます。当月分の振込額はご請求書によりご案内します。ご請求書はアカウント単位で、支払月の 7 営業日までにアカウントの管理ユーザー宛てにお送りいたします。また、請求書は Armadillo Twin 上に過去 3 ヶ月分まで保存され、アカウントの管理ユーザーのみ確認することができます。

デバイス先契約料金、登録代行オプション料金の 2 つのみ、デバイス発注時の支払いとなるためご利用の販売代理店からのご請求となります。

3.6.2 最初の支払日

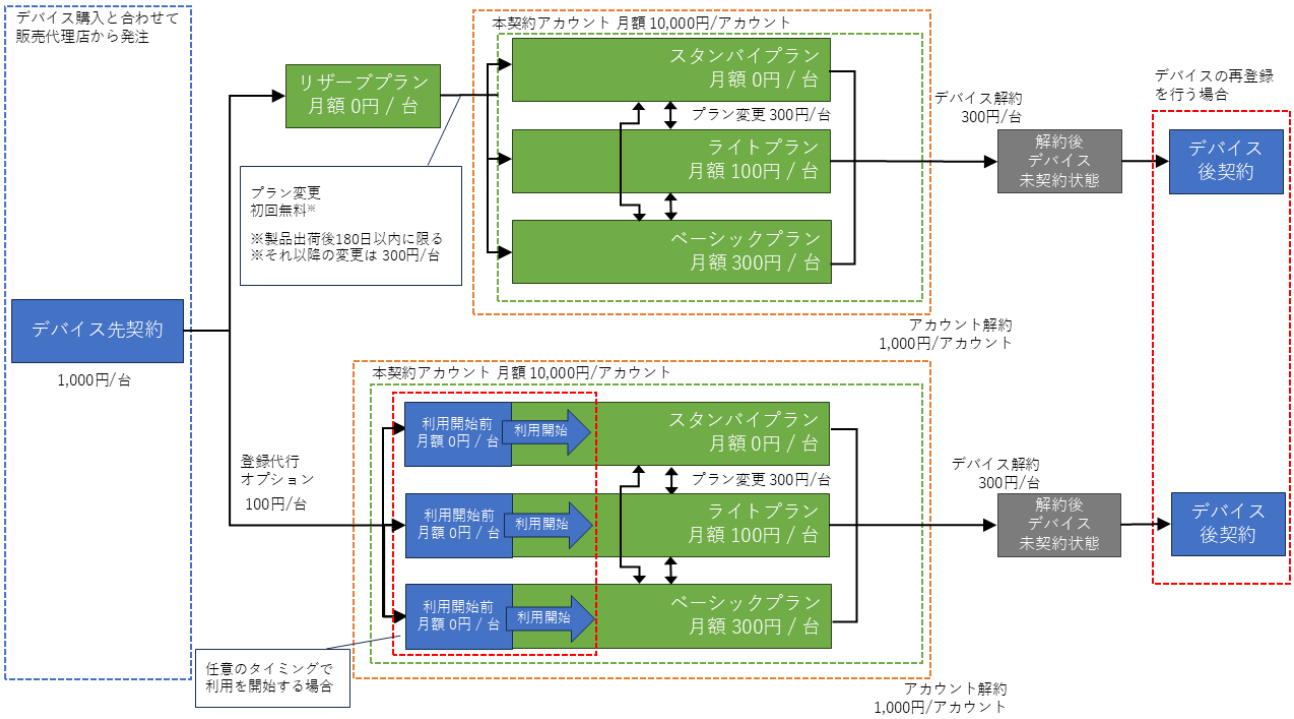
アカウント本契約後の最初の支払日は、メール:「[Armadillo Twin] 本契約登録完了のお知らせ」が送信された日の翌月末日です。

3.6.3 契約内容変更時の請求

Armadillo Twin サービス上から、デバイスの追加・プラン変更をした日付の月から変更後の料金をご請求させていただきます。また、デバイスの解約をした日付の翌月から変更後の料金をご請求させていただきます。

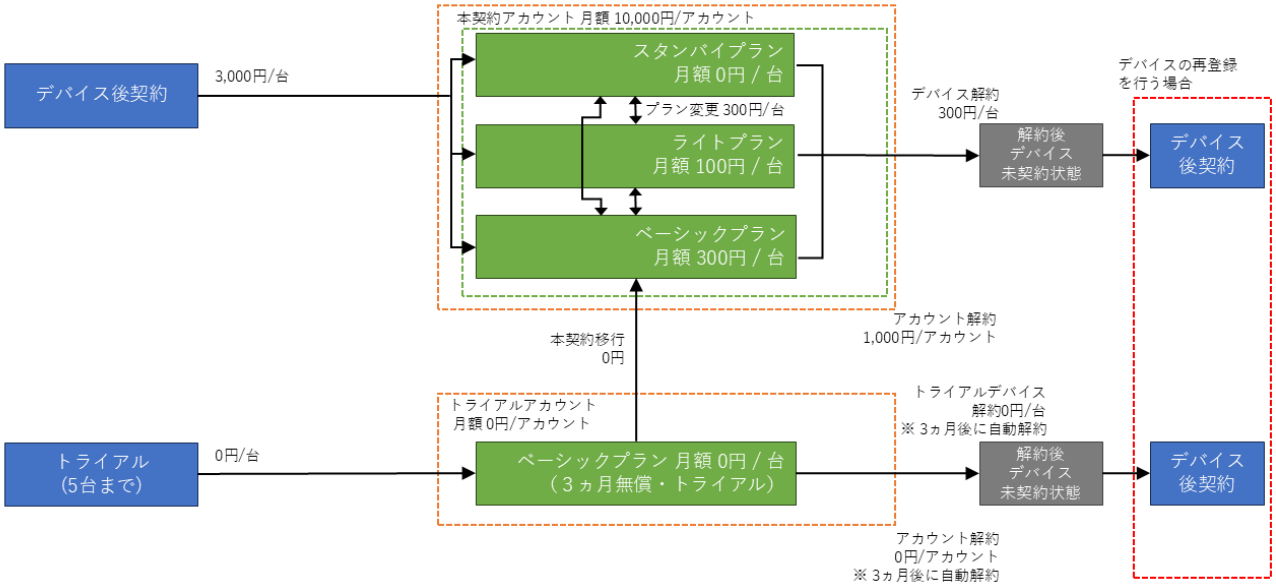
3.7 デバイスの契約・プラン申込・プラン変更の状態遷移図

3.7.1 デバイス先契約



※金額は税抜表記です。

3.7.2 トライアル・デバイス後契約



※金額は税抜表記です。

4 デバイス利用プラン

4.1 プラン表

契約形態	月額デバイス利用料金（税抜）	サービス内容			
		OTA 機能	遠隔稼働監視 遠隔操作	個体管理 ユーザー管理	同時登録台数上限
ベーシックプラン	300 円[a]	○	○	○	無制限
ベーシックプラン（3ヶ月間・無償トライアル）	0 円	○[b]	○	○	5 台
ライトプラン	100 円	—	○	○	無制限
スタンバイプラン	0 円	—	—	○	無制限
リザーブプラン	0 円	—	—	—	—[c]

[a] OTA 通信量 4GB/月の料金を含みます。アカウント内のデバイス全体で、定額部分の容量 4GB ×登録台数分の容量をシェアすることができます。

[b] OTA 通信量の上限は 4GB/月です。4GB を超える通信はできません。

[c] デバイスはクラウド（本サービス）のアカウントに未登録の状態です。

4.2 ベーシックプラン

デバイスの運用管理に必須と考えられる機能を一式利用できるプランです。お客様が次のような運用管理を行なう場合を想定しています。

- 常時デバイスに遠隔稼働監視をする。
- 定期的に OS のセキュリティアップデートを実施する。
- 定期的にアプリケーションのアップデートを実施する。

ファームウェアアップデートについて

ベーシックプランの月額デバイス利用料金には、ファームウェアアップデート通信量 4GB/月分も含まれています。アカウント内のデバイス全体で、定額部分の容量 4GB ×登録台数分の容量をシェアすることができます。

4GB を超える通信は 1GB 毎に税抜 100 円が従量課金されます。従量課金は初期状態では無効に設定されているため、有効にする場合は別途設定が必要です。

4.3 ベーシックプラン（３ヶ月間・無償トライアル）

３ヶ月間、月額基本料と月額デバイス利用料金が 0 円でベーシックプランを体験することができます。デバイスを長期にわたり設置・運用管理することを考えているお客様は、まず開発セットを購入いただいたうえで、無償トライアルをお試しください。なお、無償トライアルの場合、デバイス先契約・デバイス後契約ともに不要です。

トライアルには以下の制約事項があります

- デバイスの同時登録台数 上限 5 台。
- デバイス 1 台当たり OTA 通信量の上限は 4GB/月。アカウント内のデバイス全体で、定額部分の容量 4GB×台数分の容量をシェアすることができます。
  ３ヶ月間・無償トライアルの詳細については「トライアル」を参照ください。
- 一度トライアルアカウントに登録したデバイスは、他のトライアルアカウントに登録することはできません。

4.4　スタンバイプラン

アカウントにデバイスを登録した状態で、デバイスの遠隔稼働監視・遠隔操作を休止状態（月額デバイス利用料金 0 円）にするプランです。休止の状態から、プラン変更をすることで開始または再開することができます。

次のユースケースを想定しています。

- デバイスの設置前やキッティング後の在庫状態では休止状態にしておき運用費用を抑え、設置後にベーシックプラン等に変更し運用管理を開始する。
- デバイスの設置運用中で、普段はデバイス遠隔稼働監視・遠隔操作をせずに休止して費用を抑え、必要に応じてベーシックプラン等に変更し、遠隔稼働監視・遠隔操作やソフトウェアアップデートを実施する。

4.5　ライトプラン

ベーシックプランで実施できる機能のうち、 OTA 機能のみを無効化したプランです。ベーシックプランにプラン変更することで OTA を実行することができます。

次のユースケースを想定しています。

- デバイスの設置運用中で、デバイス遠隔稼働監視・遠隔操作は常時行なうが、 OTA の実施予定がない場合。

4.6 リザーブプラン

デバイス発注時にのみ契約することができるプランで、Armadillo Twin 上の特定のアカウントに紐づかない形でサービスにデバイスが登録され、紐づけ待ちの状態となっています。リザーブプランに契約したお客様にのみ発行されるデバイス証明書を使って、Armadillo Twin サービス上から任意のアカウントへのデバイス登録が可能になります。

これを利用して、デバイスの設置後に、必要になったタイミングで後からアカウントの契約・アカウントへのデバイスの登録をし、現地に行くことなくデバイスの遠隔稼働監視・遠隔操作を開始することができます。

デバイス購入時の初期費 税抜 1,000 円/台を支払うことで、必要になるまでランニングコストを月額 0 円に抑えることができる点がメリットです。

設置後に Armadillo Twin での運用管理をスタートするには、デバイス設置前にあらかじめ Armadillo Twin と接続するためのソフトウェア(Armadillo Twin Agent)をインストールしたうえで、インターネットに接続した状態にしておく必要があります。インストール方法はマニュアル（https://manual.armadillo-twin.com）をご確認ください。

リザーブプランに申し込みをしたうえで、設置後ではなく設置前にアカウントの契約・デバイスの登録をすることも可能です。この場合、製品本体の 2 次元コードをスキャンしデバイス登録をすることもできます。

5 Twin ポイント

5.1 概要

Armadillo Twin には、利用する度にポイントを消費する機能があります。このときに消費するポイントを Twin ポイントと呼びます。アカウントにはデバイスの契約台数に応じた Twin ポイントが付与されており、対象機能を利用すると各機能に設定されたポイントを消費します。

5.2 対象機能

Twin ポイント対象機能は以下の通りです。各機能における消費ポイント数はユーザーマニュアルをご確認ください。

- Armadillo Twin REST API

5.3 付与ポイント数

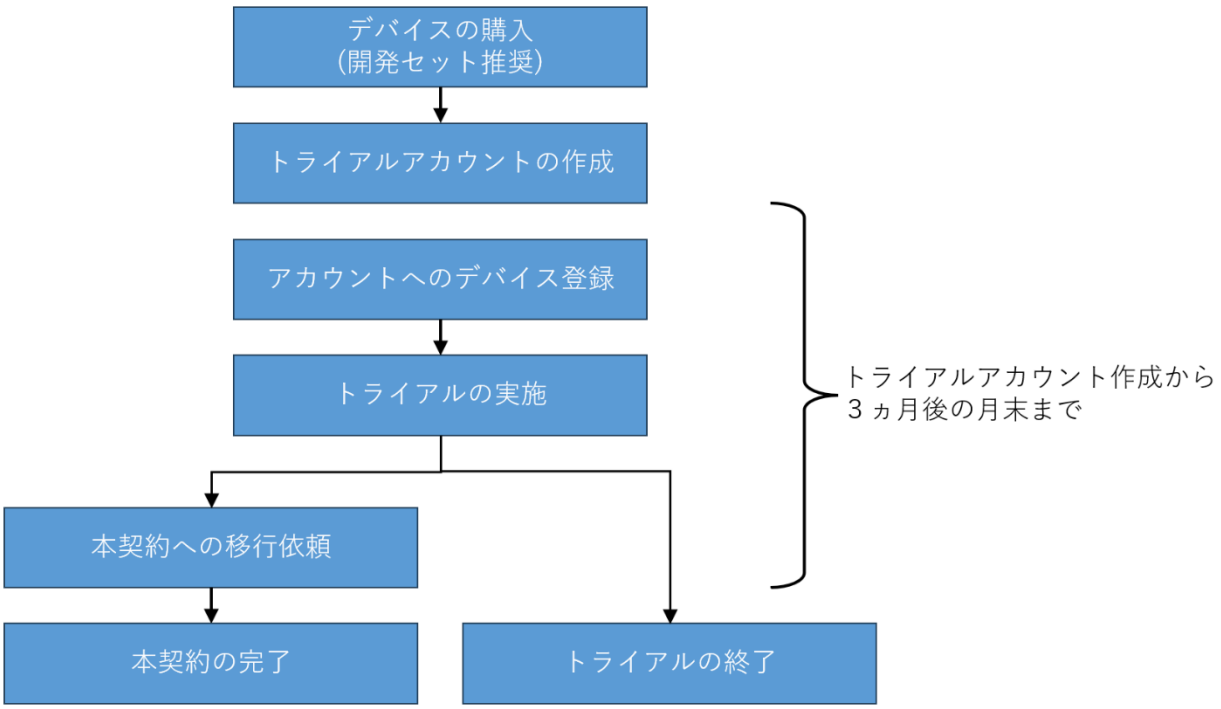
アカウントあたりに 50,000 ポイントが付与されます。更に、以下の通り契約している台数分のポイントが加算される形で付与されます。

契約形態	月額デバイス 利用料金（税抜）	付与ポイント
ベーシックプラン	300 円	1500
ベーシックプラン （3ヶ月間・無償トライアル）	0 円	0
ライトプラン	100 円	500
スタンバイプラン	0 円	0
リザーブプラン	0 円	0

ベーシックプランを 1 台、ライトプランを 1 台契約している場合、付与されるポイント数は 52000 ポイントとなります。

6 トライアル

6.1 トライアルの流れ



6.1.1 デバイスの購入

対応デバイスをお持ちでない場合は、デバイスを購入してください。デバイスには開発セットと量産品の２種類がありますが、開発セットでのトライアルを推奨いたします。量産品でも問題なくトライアルを実施することができます。なお、無償トライアルの場合、デバイス先契約・デバイス後契約ともに不要です。

一度トライアルアカウントに登録したデバイスは、他のトライアルアカウントに登録することはできません。

6.1.2 それ以降の手順は、クイックスタートを実施

「Armadillo Twin ユーザーマニュアル」に記載のクイックスタートを参照してトライアルアカウントの作成、デバイスの設定、登録、サービスの利用を実施ください。

https://manual.armadillo-twin.com

サインアップ画面で「トライアル」を選択したうえで、ガイドに従って進めていくと、即日アカウントが作成され、登録したメールアドレスに通知がされます。

それ以降はクイックスタートの手順に沿って進めていくことで Armadillo Twin を体験することができます。

6.2 トライアル期間

アカウントは作成から 3 ヶ月後の月末まで利用可能です。期間内に本契約に移行しなかった場合は自動終了となり、アカウントおよび登録した情報・デバイス監視データは自動的に削除されます。

トライアル終了の 30 日前にトライアルアカウント作成時に登録したメールアドレスに通知いたします。

自動終了日よりも前にトライアルを終了したい場合は以下のフォームからお問い合わせください。

https://apps.armadillo-twin.com/ja/inquiry

7 アカウント本契約

7.1 トライアルアカウントから本契約アカウントへの移行

トライアルで作成したアカウントは、アカウント作成から 3 ヶ月後の月末未満であれば本契約に移行することができます。登録したデバイス、設定情報、デバイス監視データ等は引き継がれます。トライアルから本契約への移行申し込みは以下のフォームからお問い合わせください。

https://apps.armadillo-twin.com/ja/inquiry

トライアルで登録したデバイスのデバイス契約料金は発生しません。

7.2 新規に本契約アカウントを作成する

「Armadillo Twin ユーザーマニュアル」に記載の「クイックスタート」を参照し本契約アカウントを作成してください。 1 〜5 営業日程度で「[Armadillo Twin] 本契約登録完了のお知らせ」という件名のメールが送信されます。

https://manual.armadillo-twin.com

アカウント作成完了後、手順にそって進めていくことでデバイスの登録、ステータスの確認等を行なうことができます。

7.3 本契約アカウントへのデバイス登録方法

本契約アカウントへデバイスを登録するには、２つの方法があります。

1. **デバイスに貼り付けられている２次元コードを利用する**

   手元にデバイスがあるケースを想定した登録方法です。Armadillo Twin サービスから、デバイスに貼り付けられている２次元コードをスキャンすることで、アカウントにデバイスを登録できます。2 次元コードをスキャンした後、10 分間以内に、Armadillo Twin Agent をインストール済みのデバイスを起動して、Armadillo Twin とデバイスの接続を実施する必要があります。10 分以内に接続が完了しない場合、タイムアウトし、また２次元コードのスキャンからやり直す必要があります。

2. **リザーブプラン契約時に配布されるデバイス証明書を利用する**

   既に設置済みで手元にデバイスがなく、実働動作している環境に後からデバイス登録するケースを想定した登録方法です。リザーブプランを契約した場合には、シリアル番号ごとにデバイス証明書を配布します。「Armadillo Twin ユーザーマニュアル」に記載の「Armadillo Twin にリザーブプランのデバイスを登録する」を実施することで、アカウントにデバイスを登録することができます。

   また、デバイス証明書を利用したデバイス登録を行なうには、設置する前に以下をしておく必要があります。

   - どのシリアル番号の個体をどこに設置したのか分かるように管理しておく
   - デバイスにあらかじめ Armadillo Twin Agent をインストールしてから設置する
   - デバイスにあらかじめインターネットと接続可能なネットワーク設定をしてから設置する

8 契約内容の変更方法

8.1 アカウント解約

以下のフォームからお問い合わせください。

https://apps.armadillo-twin.com/ja/inquiry

8.2 デバイス解約

「Armadillo Twin ユーザーマニュアル」記載の「デバイスを削除する」を実施することで、デバイスを解約することができます。

8.3 デバイス利用プラン変更

8.3.1 リザーブプランから他のプランへの変更

「Armadillo Twin ユーザーマニュアル」記載の「Armadillo Twin にデバイスを登録する」を実施することで、リザーブプランから他のプランに変更することができます。

なお、弊社製品出荷後 180 日以内の初回プラン変更は無料です。180 日を過ぎてからの変更は 300 円(税抜)/台の費用が発生します。BTO サービスおよびカスタマイズサービスにおいて出荷する確認用のデバイスについては、全数納品時の出荷日ではなく、あくまで確認用デバイスの出荷日となります。

8.3.2 他のデバイス利用プラン変更

「Armadillo Twin ユーザーマニュアル」記載の「デバイスのプランを変更する」を実施することで、デバイス利用プランを変更することができます。

9 問い合わせ・サポート

9.1 問い合わせ窓口

Web フォームよりお問い合わせ可能です。

受付方法	窓口
Web フォーム	https://apps.armadillo-twin.com/ja/inquiry

9.2 問い合わせいただける内容

- お見積もり依頼
- サービスや契約・解約方法・プランに関するお問い合わせ
- その他のお問い合わせ

9.3 メンテナンス・サービスの停止・不具合に関するお知らせ

メールにてご連絡差し上げます。

- アカウントの作成時に登録いただいたメールアドレス（管理ユーザーのメールアドレス）
- アカウント内に作成した一般ユーザーのメールアドレス

10 改訂履歴

バージョン	年月日	改訂内容
1.0.0	2024/02/27	・初版発行
1.1.0	2024/07/10	・ライトプランおよびスタンバイプランおよび OTA 従量課金 サービス提供開始に伴い、以下の箇所を変更 ・「3.1 料金表」の内容、注記 ・「3.6 デバイスの契約・プラン申込・プラン変更の状態遷移図」 ・「4.1 プラン表」の内容、注記 ・「4.5 ライトプラン」を追加 ・「7.3.2 他のデバイス利用プラン変更」 ・「6.3 2.リザーブプラン契約時に配布されるデバイス証明書を利用する」を修正 ・リザーブプラン製品出荷後 180 日間プラン変更料無料に関して、以下の箇所を変更 ・「3.6 デバイスの契約・プラン申込・プラン変更の状態遷移図」 ・「7.3.1 リザーブプランから他のプランへの変更」 ・誤記およびわかりにくい表記の修正
1.2.0	2024/07/30	・「デバイス先契約料金 デバイス登録代行オプション」および「リザーブプラン製品出荷後 180 日間プラン変更料無料」サービス提供に伴い、以下の箇所を変更 ・3.1 料金表 ・3.2.3 デバイス先契約料金 デバイス登録代行オプション付き ・3.6 デバイスの契約・プラン申込・プラン変更の状態遷移図 ・7.3.1 リザーブプランから他のプランへの変更
1.3.0	2024/08/28	・「スケジュール実行」サービス提供開始に伴い、以下の箇所を変更 ・2.3 提供機能一覧 ・「3.6 デバイスの契約・プラン申込・プラン変更の状態遷移図」を修正 ・誤記およびわかりにくい表記の修正
1.3.1	2025/01/31	・「7.3.1 リザーブプランから他のプランへの変更」 BTO サービスおよびカスタマイズサービスにおいて出荷する確認用のデバイスに関する記述を追加
1.3.2	2025/04/01	・デバイス先契約料金、デバイス登録代行オプションに関する表記を変更 ・3.1 料金表 ・項目名を変更 ・デバイス登録代行オプション料金のみの記載に変更 ・3.2.2 デバイス先契約料金 ・リザーブプランが適用される旨追記 ・3.2.3 デバイス登録代行オプション料金 ・利用申込書に関する記述を追加 ・「デバイスの利用を開始するタイミング」の説明を修正 ・3.5.1 請求書払い ・料金項目名を修正 ・3.6.1 デバイス先契約 ・状態遷移図を修正 ・誤記およびわかりにくい表記の修正
1.4.0	2025/04/14	・「2.6 対応デバイス一覧」 Armadillo-IoT ゲートウェイ A9E を追加

バージョン	年月日	改訂内容
1.5.0	2025/04/30	・「2.6 対応デバイス一覧」 Armadillo-900 を追加
1.6.0	2025/06/24	・Armadillo Twin REST API サービス提供開始による Twin ポイントの導入に伴い、以下の箇所を変更 ・3.1 料金表 ・ポイント利用料(従量課金分) を追加 ・3.5 一時費 ・5 Twin ポイント ・誤記およびわかりにくい表記の修正